

北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY



ORSO



かがやく“笑顔”のために  
森永乳業

2021年6月30日

岩見沢市

北海道大学

森永乳業株式会社

エミプラスラボ合同会社

株式会社 ORSO

## 妊娠・子育て支援の産学官連携を DX化する国内初※1の「新しい公共」プロジェクト ～北海道岩見沢市にて6月30日より先行して提供開始～

国立大学法人北海道大学(以下、北大)、森永乳業株式会社(以下、森永乳業)、エミプラスラボ合同会社(以下、エミプラスラボ)、株式会社 ORSO(以下、オルソ)は、北大 COI※2 の取組みとしてオンラインとオフラインを融合させた子育て支援 DX 化プロジェクトを共同で立ち上げることに合意いたしました。

現在、岩見沢市では核家族化の増加やご近所付き合いの減少を理由に、プレママ・パパは子育てに関する知識が少ない上に、知識を習得する環境にも乏しいという課題が、北大 COI※2 による調査で浮き彫りになっています。さらに、お出かけが制限される社会情勢もあり、より一層、それらの課題が加速化しています。

※1 北大 COI 調べ 以下条件を満たした産学官連携事業

「母子手帳配布時にアプリも配布」、「市の保健師が自治体ごとにアプリを運営」、「メーカーや大学が WEB 講座を提供」、「地域の拠点での商品定期受け取りとリアルサービスの提供」

※2 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラムは、文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施する、産学官連携によって革新的なイノベーションの実現を目指す研究開発プログラム。北海道大学は平成 27 年より本プログラムに採択され、筑波大学、北里大学、40 社を超える企業・関連機関とともに『食と健康の達人』拠点として活動している。

この「新しい公共」プロジェクトの第一弾として、北大 COI と岩見沢市が共同で運営中の「子育て世代と地域をつなぐコミュニティーサービス『家族健康手帳アプリ』」をリニューアルし、妊娠・授乳期のママ・パパ向けの学びの動画講座(以下、e カレッジ)「プレママ・プレパパのおなかからの育児講座」をサービス実証価格にて岩見沢市民に向けて6月30日(水)より提供を開始いたします。

地域につながる子育て応援アプリ  
**家族健康手帳**

動画で学べる/パパママeカレッジ開講!

講座例「プレママ・プレパパのおなかからの育児講座」

妊娠週数やお子様の月齢に合わせた情報がカレンダーに自動で届く!

パパとママの間で子育て気づきメモを共有できる!先輩/パパママの気づきも届く!

市内の子育てイベント情報もカレンダーやお知らせに届く!

提供: 北海道大学COI 監修: 森永乳業  
協力: エミプラスラボ

©森永乳業・エミプラスラボ・ORSO

## ◆e カレッジ概要

森永乳業の研究員が講師となり、子育てに関する知識の習得をオンラインで提供する取り組みです。現在の社会情勢において自治体のリアルな子育て支援イベントの開催が見送られる中、産学官が一体となって安心な子育てにつながる知識をオンラインで提供できるプラットフォームを構築いたしました。

eカレッジ例

プレママ・プレパパのおなかからの育児講座 (全17講義)

全講座 初回講義は無料

見やすい10分前後の動画

修了テストで学びを確認

プレママ・プレパパアンバサダー認定証

No.10001 御腹 元気

発行日 2021年6月7日

発行元 北海道大学COI「食と健康の達人」拠点

受講者全員に北海道大学COI発行のアンバサダー認定証をお届けします

講座内容に関連した商品セットプログラムも今夏開始予定

©森永乳業・エミプラスラボ・ORSO

受講料金は家族単位。ママが受講すると、パパも一緒に受講できる！

## <講座内容>

「妊娠中の食事の大切さ(1~3)」、「妊娠期に足りない栄養(1~2)」、「妊娠期に気を付けたいこと」、「妊娠中・産後のママの体と心の変化(1~3)」、「赤ちゃんの栄養方法、母乳のメリット」、「母乳のあげ方、母乳不足の見分け方」、「育児用ミルクについて(1~2)」、「ミルクの作り方・飲ませ方」、「赤ちゃんの眠りと1日の生活リズム」、「赤ちゃんのうんちから分かること(1~2)」

## ◆今後の展開について

北大 COI はアプリのみならず、育児用ミルクなどの商品の定期販売や、お子さまの成長を見守るメモリアルサービスを通じた豊かなユーザー体験、ユーザー同士のつながりを創出するサブスクリプションサービス「Baby-Sub!」(ベビサブ)※3 を提供することで、地域との交流が減少し不安を抱える子育て世代が安心して子育てできる環境づくりを目指します。(今秋サービス開始予定)

また、岩見沢市では、「Baby-Sub!」サービスを皮切りに、構成する様々な機能を利用し、ルーラルエリア(農村地域)に対する新たなサービスをはじめ、例えば「子どもの運動プログラム」や「市民向けリカレント教育」を追加するなど、地方創生を具体化するための「コミュニティ・プラットフォーム」として着実に社会実装を進めていく考えです。

※3 「Baby-Sub!」:エミプラスラボ合同会社の出願商標です。詳細は準備が整い次第発表予定。

<参考情報:岩見沢市と北大 COI のこれまでの取組み>

北海道大学が 2015 年より選定されている文部科学省・JST のセンター・オブ・イノベーション(COI)プログラムにおいて、『食と健康の達人』拠点として、“母子が笑顔で幸せに暮らせるまち”の構築を、岩見沢市、森永乳業含む企業 40 社以上と取り組んで参りました。

「妊産婦、出産、子供の成長を食、腸内環境、母乳等の観点から実施してきたコホート研究、その内容を分析し、家族にフィードバックする仕組みである「母子健康調査※4」を実施した結果、2014 年に 10.4%だった同市の低出生体重児率を 2019 年に 6.3%へ低減したという大きな成果を得ました。母子健康調査は市で出産される方が希望すれば全員参加することができます。

この「低出生体重児減を実現した岩見沢市・北海道大学の産学地域共創プロジェクト」は国からも高い評価を受けており、2021 年 2 月には内閣府主催「第 3 回日本オープンイノベーション大賞」にて「日本学術会議会長賞」を受賞しました※5。

これまでは現状把握するために「生活者を知る」研究や取組みに注力してきました。今後は、これまで得られた研究成果を社会問題解決のために応用、展開してまいります。

※4 出生率の向上と低出生体重児の減少を目的とした母子健康調査。産学官連携による社会問題解決や、持続可能な社会の実現をめざす『食と健康の達人』プロジェクトの一環として、岩見沢市がめざす健康経営都市の実現推進のために、2017 年から開始。

※5 日本のオープンイノベーション推進のために、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取組を内閣府が「日本オープンイノベーション大賞」として表彰。

## ■北大 COI 各担当より



北海道大学 産学・地域協働推進機構 FMI 推進本部 松尾 理恵

北海道大学 COI では、母子を中心に、家族が健康で安心して暮らせる社会を目指して活動を続けております。今回のプロジェクトでは、プレママ・パパにフォーカスをあて、妊娠期からの支援に取り組んでまいりました。はじめての妊娠・出産は不安がつきものです。ママ・パパたちの気持ちに寄り添い、オンラインでの学びから、今後は産後・子育てをサポートする新しいサブスクリプションサービスを、産学官、そして地域のみなさまと一緒につくってまいります。



森永乳業株式会社 マーケティング統括部 尾田 京子

赤ちゃんが笑顔で大きくなるように。森永乳業はご家族の想いと同じ想いで育児用ミルクの製造を始めてから 101 年目を迎えました。2017 年より北大 COI の産学官連携による岩見沢市母子健康調査を本格的に開始し、問題の実態把握とその解決に向けての取組みを進めています。この度、不安や心配ごとが多い妊娠・育児期のご家族向けに、当社の研究から得られた知見を詰め込んだ育児講座の監修をさせていただきました。これからも、商品、研究、社会貢献活動を通じて社会課題を解決し、人々の健康に貢献する企業として、社会とともに持続的に成長することを目指してまいります。



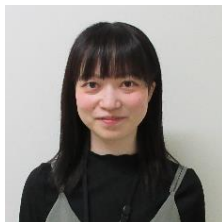
エミプラスラボ合同会社 栗林 千奈美

エミプラスラボは、笑顔あふれる社会をみなさんと共感で創っていくために設立された北海道岩見沢市の会社です。本プロジェクトでは、オンラインのほか、主にサブスクリプションサービスで地域のみなさんと関わり、妊娠期から子育てのサポートをさせていただきます。妊娠は喜びとともに不安が多いもの。たがいに寄り添い共感しあえるママ・パパたちのコミュニティづくりによって、微笑みの輪がこの地域から全国に広がるよう取り組んでまいります。



株式会社 ORSO リカーリング事業開発本部 宮寺 伸明

当社のデジタルヘルスケア事業としまして、2017 年より「家族健康手帳」アプリの開発・提供をさせていただいております。今回の取組みでは、デジタルとリアルを組み合わせた新しい体験を創り、プロジェクトに携わる方々自身も楽しみながら続けられる子育て世代の支援の仕組みを、地域の資産として残せるよう、皆様との協力体制を作りながら進めて参りたいと存じます。



岩見沢市 健康づくり推進課 岩城 志歩

妊娠された方からママ・パパ向けのコンテンツ利用など、子育てを応援する様々なサービスを提供できることとなりました。市民の皆さんと楽しく利用していきたいと思っております。

なお、当該リリース内容は岩見沢市から定例記者懇談会にて配布、および北海道大から北海道教育庁記者クラブ、森永乳業から東商記者クラブ・農政記者クラブへ配信されています。

以上

《本件に関する報道関係者のお問い合わせ先》

**お問い合わせ先**

北海道大学 産学・地域協働推進機構 FMI 推進本部

TEL:011-706-9602 FAX:011-706-9607 Mail:coi-office@fmi.hokudai.ac.jp

URL:<https://www.fmi.hokudai.ac.jp/coi/>

森永乳業株式会社 広報 IR 部 渡辺

TEL:03-3798-0126 Mail:pr@morinagamilk.co.jp

URL:<https://www.morinagamilk.co.jp/>

エミプラスラボ 合同会社 栗林

TEL:0126-25-8311 Mail:mail@emiplus.jp

URL:<https://www.emiplus.jp/>

岩見沢市 情報政策部 黄瀬

TEL:0126-25-8004 Mail:media@i-hamanasu.jp

URL:<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/>

**配信元**

北海道大学総務企画部広報課(〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

TEL:011-706-2610 FAX:011-706-2092 Mail:jp-press@general.hokudai.ac.jp

※北海道大学以外の配信元は「お問い合わせ先」と同様になります。